

秋の星空

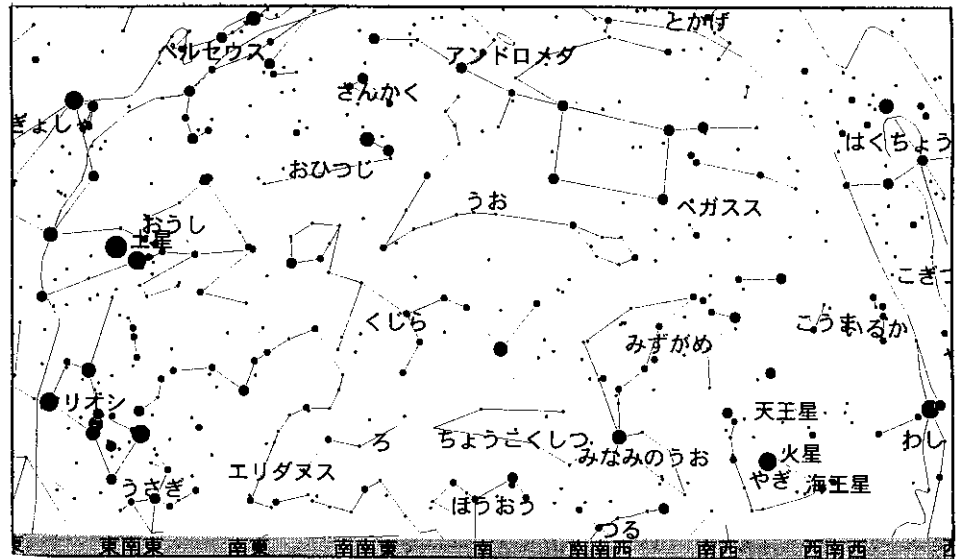
【児童センター秋の星空11月号】

秋の夜、虫の声を聞きながらのんびりと星々をながめると、夏のなごりの星座たちが西の空に傾き、「ペガサス座」や「うお座」など、秋の代表的な星座が天空をおおいます。秋の四角形として知られる「ペガサス座」の北側には天の川の中にW型の「カシオペヤ座」を見つけることができます。

＜11月の星空カレンダー＞

- 1日（木）○満月
- 8日（木）●下弦
- 15日（木）●新月
- 23日（金）●上弦

右の星図は、11月中旬の夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆

《しし座流星群》

いよいよ「しし座流星群」の時期が近づいてきました。予報によると、11月19日（月）未明に日本から東アジアの地域で流星群が観測できます。しかし出現日時が予報よりずれる場合もありますので、この日だけにポイントを合わせないで余裕があれば、前後1日観測できるといいですね。この現象を起こしているのはテンペル・タットル彗星から放出する粒子（流星ダスト）が地球の大気に飛び込んで流れ星となって夜空に輝きます。この彗星は約33年の周期で太陽を一周しますが、彗星から放出した粒子が軌道上に残っているため1987年の最接近の後でも観測ができることになります。流星が飛んでくる方向の星座が「しし座」にあるため「しし座流星群」と呼ばれています。このためカメラで撮影する場合、広角レンズを使用し「しし座」にカメラ向けましょう。

☆火星：夕方の西空で赤い星が火星です。夜10時ころには沈みます。

☆木星・土星：夜遅く冬の星座の中で輝きます。木星は

「双子座」、土星は「おうし座」の星座にあります。

